

月刊アンモナイト通信

No. 0, vol. 1

このたび「月刊アンモナイト通信」と題して、いわき市アンモナイトセンターの情報誌を創刊することと致しました。「月刊アンモナイト通信」では、その月の行事報告や次月の行事予定、アンモナイトセンターに保管・展示されている化石の紹介などを（ほぼ？）月一度の頻度で行ってまいります。加えて、アンケート用紙などで寄せて頂いた利用者の皆様からの声もお届けできればと考えていますので、末永くよろしくお願い致します。

2月の行事報告

・生涯学習フェスティバル（2月16日）

2月16日にいわき市生涯学習プラザで開催された「生涯学習フェスティバル」にて、三葉虫のミニ発掘体験を行いました。当日は朝10時から昼休みを挟んで午後3時まで体験コーナーを開き、合計で15名の方々に化石発掘を体験して



図1. ミニ発掘体験コーナーの様子

もらう事が出来ました。体験に使用した三葉虫化石はモロッコのオルドビス紀（約4億5000万年前）のもので、ノジュールとなっているため大変固く、お子さん達は割るのに一苦労、といった様子でしたがボランティアの方達のご協力もあり全員無事に化石を取り出す事に成功しました。

- ・体験発掘開催回数：10回（2月17日までの回数）
- ・特別体験発掘開催回数：0回
- ・冬休み企画展「絶滅生物の行動を読み解く展示会～生痕化石が持つ力」（2月11日まで）

今月のイチオシ化石紹介

Mesopuzosia yubarensis

言わずと知れた、当アンモナイトセンターの代表的な化石です。*Mesopuzosia yubarensis* は白亜紀後期のチューロニアンからコニアシアン（約 9600 万年前～8600 万年前）に生息していたアンモナイトの仲間で、大きなものは直径が 1 m 以上にもなります。当センターのホールに展示してある標本はいずれも双葉層群足沢層から産出した化石で、一番窓側の個体は体験発掘場から 2004 年に産出した標本です。中央の標本は推定される直径が約 1.2 m とされており、これは本州でも最大級の大きさです。



図 2. 体験発掘露頭から産出した *Mesopuzosia yubarensis*

3月の行事予定

- ・第6回親子自然探訪教室「コハクを発掘しにいこう！」（3月21日10時～13時）
募集期間は**3月3日まで**となっていますのでお早めに申し込みください。
大変人気のある回のため、**申込者多数の場合は抽選**とさせていただきます。ご了承下さい。
- ・体験発掘（毎週土曜・日曜の10時～11時30分及び13時30分～15時、但し雨天中止）



いわき市アンモナイトセンター

〒979-0338 福島県いわき市大久町大久字鶴房 147-2

TEL : 0246-82-4561 FAX : 0246-82-4468

URL : <http://www.ammonite-center.jp>

E-mail : info@ammonite-center.jp